



## Symantec™ Managed PKI サービス用 Symantec™ PKI Client 補足情報

この文書では、Symantec™ PKI Client ソフトウェアコンポーネントに適用される追加情報と利用条件を示します。このソフトウェアコンポーネントは、以下の Symantec™ Managed PKI サービスで、お客様が選択した場合に追加されます。

- Managed PKI コブランド証明書サービス
- Managed PKI プライベート証明書サービス
- Managed PKI サービス for Windows (コブランド証明書)
- Managed PKI サービス for Windows (プライベート証明書)

Symantec™ PKI Client を使用すると、PKI の証明書ライフサイクルプロセスにおける発行、更新、アプリケーション統合を効率化できます。Symantec PKI Client は、Symantec™ Managed PKI (MPKI) サービスのアドオンパッケージと連携して、PKI クレデンシャルを使った認証、データ保護、デジタル署名を可能にするクライアントミドルウェアです。PKI クレデンシャルには、「仮想トークン (またはvToken)」と呼ばれる独自のソフトウェアクレデンシャルが使用されます。これは、さまざまな標準的なデスクトップアプリケーションおよびオンラインアプリケーションで使用できます。仮想トークンによって、ユーザーの操作性向上など、標準のブラウザ/OS ベースの PKI では利用できない機能を実現し、PKI ライフサイクル全体を簡素化できます。また、仮想トークンには、使用方法、セキュリティ保護、ユーザーの認証方法を指定するサーバーベースのポリシーを設定することもできます。

### 機能

PKI Client では以下の主要機能を利用できます。

- 効率的な PKI ライフサイクル管理

Symantec Managed PKI サービスを利用する際に、さまざまな Web ブラウザやプラットフォームからユーザーが簡単に PKI クレデンシャルを発行および自動更新して仮想トークンに保存できます。

- 集中型のポリシー管理

仮想トークンのセキュリティ保護に関するポリシー (ユーザーの PIN に関するポリシーやエクスポートに関するポリシーなど) を管理できます。PKI クレデンシャルの更新方法 (クライアントでの自動更新など) を指定することもできます。さらに、仮想トークンに独自の名前を設定して、証明書の区別を簡便にし、各クレデンシャルがどの認証のためのものかを適切に認識することができます。

- 電子メールの署名と暗号化

電子メールを暗号化したり、電子メールにデジタル署名を付けたたりして、データ保護と否認防止を行えます。Outlook® では自動化の設定により、PKI クレデンシャルを使った電子メールの署名や暗号化を簡単に行うことができます。

- Web サイトへの安全なログイン



Web サイトへの認証に仮想トークンと PIN、SSL 通信を使用することによって、セキュリティを強化できます。

- **ファイル、文書、PDF の署名と暗号化**

Microsoft® Word 文書、Adobe® PDF、その他のファイルのネイティブの暗号化機能(ある場合)を使用することがができるため、デジタル署名を付けて、データ保護と否認防止を行えます。

- **CSP および PK CS#11 標準の実装**

主要なアプリケーションからの利用をサポートし、RSA 1024/2048、MD5、SHA1、DES、3DES、RC2 などのアルゴリズムを業界標準アプリケーションインターフェースを通じて利用できます。

#### サポートされるクライアント

- **Microsoft® Windows®**
  - XP SP3(32 ビット)、Vista SP2(32 ビット)、2003 SP2(32 ビット)、7(32/64 ビット)、2008(64 ビット)
- **Pentium® III 以上、256 MB の RAM、25 MB のハードディスク空き領域**
- **電子メールクライアント: Outlook 2003/2007、Thunderbird® 3**
- **ブラウザ: Internet Explorer® 7/8、Firefox® 3**
- **Office: 2003/2007**
- **Adobe Acrobat® 9**

#### サーバー要件

- **Windows Server® 2003 R2**
- **IIS 6.0、ASP.net 2.0**
- **.NET Framework 2.0**
- **Java Runtime Environment™ 6**
- **Java™ 暗号化ポリシーファイル**
- **MPKI 7.2 または 7.3 Site Kit**
- **2 GB の RAM、256 MB のハードディスク空き領域**

この文書では、Managed PKI サービスについては説明しません。詳しくは、該当するサービス説明を参照してください。

\*\*\*

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Outlook は、Microsoft 企業グループの商標です。

Adobe と Acrobat は、Adobe Systems, Incorporated の商標です。

Java と Java Runtime Environment は、Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Firefox と Thunderbird は、Mozilla Corporation の商標です。

Pentium は、Intel Corporation の商標です。



Symantec と Symantec ロゴは、Symantec Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。



## Symantec™ Managed PKI サービス用 Symantec™ PKI Client 追加利用規約

### 1. 定義

「**契約**」とは、シマンテックとお客様の間で結ばれ、適用されるサービス説明によってシマンテックからお客様への基本サービスの提供が定められた、マスターサービス契約またはその他のマスター契約や規約を指します。サービス説明は、シマンテックの Web サイトで公開されています。

「**サービス**」とは、ソフトウェアがバンドルされている Symantec™ Managed PKI サービスを指します。

「**ソフトウェア**」とは、サービスの提供に関連してシマンテックからお客様に提供されるソフトウェアコンポーネント (Symantec™ PKI Client など) を指します。

### 2. お客様の義務

(a) **お客様の義務** お客様は、サービスとソフトウェアを利用するために社内を設置する必要のあるハードウェアの調達と保守、および社内のネットワークとコンピュータシステムのセキュリティ管理について、全責任を負うものとします。

(b) **お客様の保証** お客様は、契約で明示的に定められた限定的保証に加えて、以下の項目もシマンテックに保証するものとします。(i) シマンテックのシステム、ソフトウェア、サービスの技術的実装を監視、妨害、リバースエンジニアリングせず、またはその他の方法でそれらのセキュリティを故意に侵害しないこと、(ii) HSPD-12 における義務、および FIPS (Federal Information Processing Standards Publication) 201-1 に定められたプロセスと義務に準拠すること。

(c) **監査** シマンテックは、お客様が本補足情報、適用されるサービス説明、サービス注文書、契約の条項に準拠していることを確認するため、多くて年 2 回、シマンテックの費用負担で監査を実施し、サービスとソフトウェアの使用状況について調査を行います。このような監査は、文書によってお客様に合理的な通知が送られた後、お客様側の通常の営業時間内に、お客様の業務を不合理に妨害することなく行われます。お客様は、これらの監査において合理的な範囲でシマンテックに協力するものとします。監査によって、お客様がシマンテックに支払うべき料金が不足していることが明らかになった場合、お客様は不足分の料金をただちに支払うものとします。

(d) **現地法への準拠** お客様は、本サービス説明に従ってシマンテックが生成した公開鍵/秘密鍵ペアの取得、使用、受領において、お客様がその鍵ペアを取得、使用、受領した管轄で適用されるすべての現地法や規定 (輸出入に関する法律や規制を含むが、これに限定されない) に準拠する責任があります。

### 3. シマンテックの義務

(a) **インストール** 適用される注文書に明記されていない限り、サービスにはソフトウェアのインストールサービスやシステム構成サービスは含まれません。お客様のシステムや要件が通常とは異なるか非常に複雑なために何らかのインストール作業が必要な場合は、シマンテックからその作業を実施するサービスを有料で購入することができます。

(b) **サポートとメンテナンス** お客様は、お客様の個々のユーザーにファーストレベルサポートを提供する責任があるものとします。シマンテックは、お客様に、サービスに関連したソフトウェアのセカンドレベルおよびサードレベルのサポートとメンテナンスを提供するものとします。シマンテックのサポートとメンテナンスに関する取り組みについては、適用されるサービスレベル契約書を参照してください。サービスレベル契約書はシマンテックの Web サイトで公開されています。

(c) **免責** 本補足情報、適用されるサービス記述書、または契約で規定されている場合を除き、サービスとソフトウェアは、商品性、非侵害性、特定目的への適合性に対する黙示的な保証を含め (ただしこれに限定されない)、何ら保証のない「現状有姿のまま」で提供されます。シマンテックは、サービスまたはソフトウェアに操作の中断やエラーが起きないことは保証しません。

### 4. 理由を問わずサービス終了時に適用される条件

理由を問わず、サービスが終了したときには、(a) お客様はただちにサービスとソフトウェアの使用を中止し、(b) サービスとソフトウェアを使用する権利はただちに消滅し、(c) お客様は、ソフトウェアが保存されているすべてのストレージメディアからサービス提供に関連するソフトウェアを完全に削除し、(d) いずれの当事者も、終了日より前に生じた義務および責任から解放されるものとします。